

令和7年度 東北工業大学『工大社の会の集い』を開催いたしました

工大社の会【土木工学科、建設システム工学科、都市マネジメント学科同窓会】は、令和7年11月15日（土）に19回を数える「令和7年度東北工業大学『工大社の会の集い』」を仙台サンプラザで開催いたしました。

工大社の会の集いには1回生から55回生に加え、都市マネジメント学科の3年生11名を含む82名が集い、1年振りの再会を喜ぶ姿や年齢差半世紀以上の先輩と後輩が集う光景の驚きと喜び、先生方との交流など居心地の良い雰囲気に包まれた空間に笑顔が溢れていました。

開会前に恒例の参加者全員による記念撮影を行った後、これまでにご逝去された方々に対し黙祷を行いました。

開会宣言に続き、工大社の会の船山克也会長より業界の情勢報告があり、大学からは都市工学課程長補佐の小出英夫先生より大学の近況報告が行われました。

今回の最大のトピックは、昨年の東北工業大学 神山眞 名誉教授の春の叙勲受章に続き、東北工業大学 今野弘 名誉学長が春の叙勲で「瑞宝中綬章」を受章されたことです。大学にとって2年連続となる偉大な功績は、本人はもとより学部学科の卒業生としても誇らしく、大変喜ばしいことであり、ご本人に対し参加者全員で心からお祝いできたことに尽きます。

お祝いの会に続き、東北工業大学同窓会秋元俊通会長の挨拶、工大技術士会の佐々木甲也会長による乾杯のご発声。歓談では、参加者による活発な情報交換・交流が行われました。

また、これまで同様『工大社の会の集い』を開催するもう一つの目的として、同窓生のセーフティネット（Uターン、Iターン、Jターン等の支援の場）としての役割を持ち、窓口である「工大社の会」の存在を知っていただくことがあります。

今回も現役の学生に対し先生方を通じて参加者を募っていました。学生の名札に名前と希望する職種を記載することで、先輩方との懇談の際に、希望する企業等の話題や業界の動向・将来展望等について活発な交流が行われました。

一昨年から行っている集いを盛り上げるもう一つのイベントとして、今年も都市マネジメント学科OBであり、第24代應援團OBでもある林 龍太郎氏による東北工業大学名物・伝統演舞「工大節」の披露、大学歌合唱の音頭取り、参加者全員に向けてのエールを行っていました。このメニューは単に『工大社の会の集い』を盛り上げる一つの目玉というだけでなく、同窓会としての懐かしさを感じてもらうためだけでもない、参加されたすべての皆様に元気や活力を受け取っていただくための唯一無二の催しと考えています。

最後に、『工大社の会の集い』に参加された皆様のご協力のもと、昨年以上に盛大に開催できることは工大社の会事務局としても嬉しい限りです。

ご参加いただきました同窓生の皆様、元教員の皆様、都市工学課程の教員の皆様、そして学生（3年生：11名）の皆様、誠にありがとうございました。

来年は、11月14日（土）に記念すべき第20回となる『工大社の会の集い』を「仙台サンプラザ」で開催いたします。皆様お誘い合わせの上、ご参加の程よろしくお願ひいたします。

以上